



[資料提供] 三次記者クラブ、広島県政記者会、中国地方建設記者クラブ
合同庁舎記者クラブ

令和7年11月21日（金）

きっかけとうげ

鍵掛峠道路 道路改良工事の遠隔現場見学会を開催 ～大学生にデジタル技術を活用した土木の魅力を発信～

三次河川国道事務所では、土木業界の魅力を体感していただくことを目的として、
普段見ることができない建設現場や新技術についての見学会を行っています。

この度、一般国道183号鍵掛峠道路の改良工事の建設現場と広島工業大学を通信
回線により結び、「遠隔自動航行ドローン」や「建設機械遠隔操作システム」等、デ
ジタル技術を活用した最新の土木技術の紹介を目的とした現場見学会を開催します。

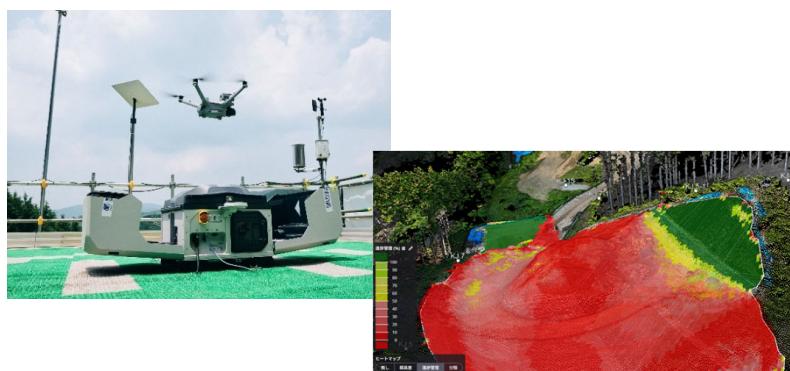
■開催日時：令和7年11月28日（金） 10:45～12:30（予定）

■開催場所：学校法人鶴学園 広島工業大学 広島市佐伯区三宅 2-1-1（別紙1参照）

■工事現場：庄原市西城町小鳥原地内（施工者：株式会社鴻治組）

■参加者：広島工業大学 学生 約60名

■主な内容：生産性向上に資するDX技術（遠隔自動航行ドローン、
建設機械遠隔操作システム）のデモンストレーション等（別紙1参照）



遠隔自動航行ドローンの活用（効率的な点群データの取得）

モビリティオフィスカーの活用案（複数現場利用）

点在する現場を迅速に移動
遠隔操機材の設営は不要



建設機械遠隔操作システム（イメージ）

※取材を希望される方は事前に担当（工務課長）までご連絡ください。

※荒天が予想される場合は、中止や工程変更をする場合があります。事前にお知らせします。

※工事現場における取材は行いませんので、ご了承下さい。

問合せ先



国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長（道路担当）竹下 和幸（たけした かずゆき）

【担当】工務課長 横山 洋範（よこやま ひろのり）

TEL 0824-63-4121（代表）

※道路の異状等を発見した場合は「#9910」へ連絡ください。



【当日のスケジュール】

- 10:45~10:50 オープニング (広島工業大学)
- 10:50~11:00 國土交通省の取組紹介 (國土交通省)
- 11:00~11:45 建設現場のDX 技術紹介: 自動航行ドローンなど (株鴻治組)
- 11:45~11:55 屋外会場へ移動
- 11:55~12:20 遠隔施工技術およびモビリティオフィスカーの紹介 (株鴻治組)
- 12:20~12:25 クロージング (國土交通省)

【連絡事項】

- 駐車場所: 広島工業大学 来客用駐車場に駐車ください。
- 集合時間:
 - ①講義冒頭 (10:45) から取材を希望される場合は、Nexus21 6階 607教室に集合
 - ②屋外で行われるDX技術紹介 (11:55) から取材を希望される場合は、新1号館棟前に集合
- 取材を希望される方は、事前に担当 (工務課長) までご連絡ください。
※荒天が予想される場合は、中止や工程変更をする場合があります。
その場合は事前にお知らせします。

2. 紹介技術詳細

DX技術①「遠隔自動航行ドローン」

遠隔自動航行ドローンを用いた測量技術から始まり、ドローンで取得した写真データを「点群」として活用し、空間を3Dで表現する仕組みを説明します。この点群データを「3次元設計データ」と対比させることで、地形の計測、進捗管理、出来形の確認など、施工管理への応用が中心的なトピックです。さらに、バックホウへの3次元データ活用による掘削作業の効率化や、AR技術を用いた施工前の現場確認事例などについても紹介します。
鍵掛峠道路に設置しているドローンを広島工業大学の教室から遠隔操縦飛行を行います。

DX技術②「遠隔施工技術およびモビリティオフィスカーの紹介」

バックホウ操縦室を搭載した「モビリティオフィスカー」の紹介と、鍵掛峠道路の現場に設置したバックホウの遠隔操縦実演を行います。（遠隔操縦とマシンガイダンス操縦を実演します）
モビリティオフィスカーの装備を紹介しながら、固定型拠点に無い利点を説明します。

- ・現場の状況を目視し、現地の空気感を直接感じながら判断を下すことができるため、対応の精度と速度が向上
- ・災害発生時に設置される「現地対策拠点」の近隣に配置することで、自治体、消防、警察、自衛隊といった現場で活動する組織との調整が極めてスムーズになり、復旧作業全体の迅速化が期待される。